



吾妻

AZUMA AREA

躍動する大地といのち

1. 噴煙の鼓動、碧き瞳の吾妻連峰
2. 灼ける五感「日本のアリゾナ」?

恵みあふれる吾妻連峰

3. 吾妻のみ! 白き猿 吾妻だからこそ! 五葉松
4. この地で時間がゆっくり流れる理由とは?
5. ふくしま生まれふくしま醸し オールふくしまの酒
6. 四季の恵みあふれる福島 果物がおいしいわけは?

火山の大地で紡がれる人々の暮らし

7. 隠れ里に立ち上る火縄銃と湯の煙
8. こけしの丸い顔に宿る先祖伝来の職人技

気軽と本格さ、どちらも叶えられるアクティビティ

9. 天の川がスマホの距離にある天文台
10. ロープウェイで気軽に山頂 でもアクティビティは本格派



躍動する
大地といのち

噴煙の鼓動、 碧き瞳の吾妻連峰

吾妻連峰は、山形・福島県境に位置する広大な火山群です。最高峰の西吾妻山(2,035m)をはじめ、2,000m級の山が連なります。約150万年前から形成が始まった吾妻連峰のうち、中吾妻や西吾妻は早期に活動を終えましたが、東側の一切経山は現在も噴気を上げ続ける活火山です。こうした荒々しい火山活動の一方で、隣接する吾妻小富士では、残雪が描く「雪うさぎ」の雪形が古くから親しまれてきました。例年4月上旬に山肌に現れるこの雪形は、農家にとって種まきの時期を知らせる、暮らしと結びついた風景でした。





オススメの場所や体験

体験/



吾妻小富士

01

吾妻連峰の北東部に位置する、標高1,707mの火山です。山容が小さな富士山のように見えることから「吾妻小富士」の名で親しまれています。直径約500mを誇る火口の眺めはまさに圧巻。火口壁をぐるりと一周する「お鉢巡り」では、ダイナミックな景観を堪能できます。



体験/



一切経山

02

今なお噴気を上げ続けている、吾妻連峰の代表的な火山の一つです。山頂から吾妻連峰の展望は素晴らしく、眼下には五色沼（魔女の瞳）を見下ろすことができます。登頂の際には火山ガスの情報に注意が必要です。



自然/



五色沼（魔女の瞳）

03

太陽光の具合でコバルトブルーの色が微妙に変化する神秘的な姿から「魔女の瞳」や「吾妻の瞳」と呼ばれる五色沼。一切経山山頂からの眺めはすばらしいです。古来は雷沼と呼ばれ、人々の雨乞いの地でした。



躍動する
大地といのち

灼ける五感 「日本のアリゾナ」?

吾妻連峰は、その荒涼とした景観から「日本のアリゾナ」と称されることがあります。しかし、風雨・川によって大地が削り取られたアリゾナとは異なり、吾妻連峰はたゆまぬ火山活動によりつくられた景観です。そして、その魅力は視覚だけにとどまりません。火山性ガスのにおいが嗅覚を刺激し、噴気音が聴覚に迫り、肌を刺すような冷気が触覚にも訴えかけてきます。まさに人の感覚を刺激する、唯一無二の火山地帯といえます。





オススメの場所や体験

体験/



磐梯吾妻スカイライン

福島市の西方、高湯温泉から土湯峠へと吾妻の連峰を縫うように走る全長約29kmのパノラマライン。日本初の山岳観光道路として知られ、「日本の道100選」にも名を連ねる名道です。最高標高1,622m、平均標高1,350mという圧倒的な高さを誇る道は、まさに「天空の道」。その絶景を求め、全国から多くのツーリングファンが訪れます。



自然/



浄土平

磐梯吾妻スカイラインの中間、標高1,600mに位置する浄土平は、一切経山や吾妻小富士に囲まれた景勝地です。一切経山の噴火が作った荒涼たる火山荒原と、オオシラビソの原生林や高山植物の湿原が共存する独特の景観が広がります。ビジターセンターや探勝路も整備されており、初心者でも亜高山帯のダイナミックな自然を気軽に満喫できます。



購入/



浄土平

ビジターセンター

浄土平ビジターセンターは、1991年に環境省によって設置された施設です。写真パネルやジオラマ等で浄土平の自然と歴史が解説されているほか、浄土平の四季を紹介する写真展示や企画展などが随時行なわれています。浄土平の荒涼とした風景の謎を知ることでできる施設です。



吾妻のみ！白き猿
吾妻だからこそ！五葉松

一方、東吾妻は泥土や岩塊に覆われた、荒涼とした火山地帯です。吾妻五葉松をはじめ、ここに生育する植物たちは、豪雪に耐え抜く力強い姿を見せてくれます。





オススメの場所や体験

＼自然／



吾妻五葉松

01

吾妻五葉松は、日本三大五葉松として知られる、福島が誇る名樹です。吾妻山に自生する五葉松は、長い年月をかけて鍛えられた荒々しい幹肌をもち、豪雪地帯ならではの環境に負けまいと、雪の重みに逆らうように枝を上へと伸ばします。また、山の粘土質の急斜面に根を張るため、表土が流されて根が地表に露出する力強い「根上がり」の姿も見えます。



＼自然／



白猿

02

西吾妻山には白い毛並みのニホンザルが生息しています。毛並みは白く足と肌に見える所はピンク色で目はブルーです。米沢市の天然記念物にも指定されており、「もし出逢えれば幸運に恵まれる」と言われています。



Photo: 縮文夫

＼見る／



高山植物

03

吾妻連峰では、アカモノやイソツツジ、チングルマ、ハクサンチドリ、ツマトリソウ、ネモトシャクナゲ、マルバシモツケなど多種多様な高山植物を見ることができます。

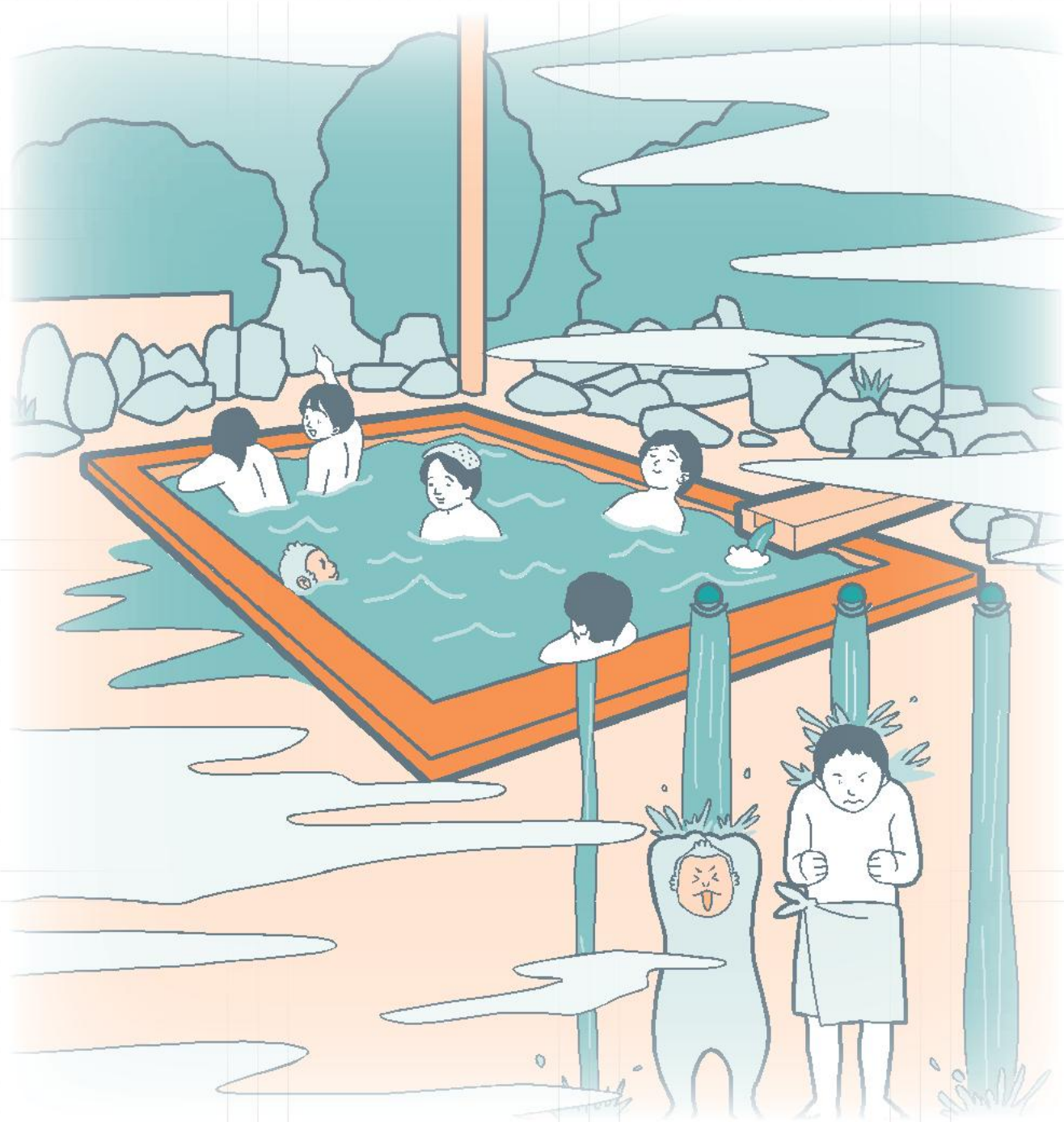
■アカモノ ■チングルマ



この地で時間がゆっくり流れる
理由とは？

吾妻エリアには、「奥州三高湯」の一つである白布温泉（山形県）、「ふくしま三名湯」と呼ばれる土湯温泉・高湯温泉・飯坂温泉（福島県）をはじめ、土湯峠温泉郷、滑川温泉など、泉質や湯温、効能が異なる多種多様な温泉が存在します。

温泉街では、都会の喧騒やデジタルの世界から離れ、時の流れがゆったりと感じられます。それは、この地の暮らしが、時計ではなく季節の移ろいを基準に営まれてきたからです。人々は秋の訪れとともに冬支度を始め、雪の季節を越えて春を待ちます。こうした季節に寄り添う暮らしの中に身を置くことで、訪れる人もまた、時間を急ぐことなく、ゆっくりと味わう感覚を取り戻すことができるのです。





オススメの場所や体験

温泉/



土湯温泉

01

日本一きれいな水質を誇る荒川の上流にある温泉。単純温泉や炭酸水素温泉、硫黄泉など複数の泉質を楽しめます。豊富な湯量の源泉を利用した地熱発電が行われています。



温泉/



高湯温泉

02

「一切の鳴り物を禁ず」。歓楽街を設けず、温泉の泉質だけで勝負し、400年の歴史を持ちます。源泉かけ流しを宣言しています。



温泉/



白布温泉

03

信夫高湯、最上高湯とともに奥州三高湯の一つに数えられる温泉。開湯以来700年余の歴史をもち、今もなお湯治場の面影が残ります。



温泉/



その他の温泉地

04

- ・土湯峠温泉郷
- ・飯坂温泉
- ・滑川温泉
- ・新野地温泉
- ・野地温泉
- ほか多数



恵みあふれる
吾妻連峰ふくしま生まれふくしま醸し
オールふくしまの酒

名酒の生まれるところには、名水があります。福島市を流れる荒川は、15年連続で「水質が最も良好な河川」に選ばれており、その源は、吾妻連峰に降り積もった雪や雨が大地にしみ込み、長い時間をかけて磨かれた清らかな水にあります。吾妻連峰の豊かな自然は、酒造りに欠かせない水の恵みを育み、今も人々の暮らしと文化を支えています。

令和6年には、吾妻山麓に日本酒・ビール・ワイン・どぶろくなどを醸す5つの醸造所が集まり、「あづま山麓ふく酒街道」が誕生しました。各蔵は理念と伝統を大切にしながら品質向上に取り組み、酒蔵見学や試飲を通じて、地域の魅力を発信しています。





オススメの場所や体験

体験/



あづま山麓ふく酒街道

01

150万年の時間が創り上げた吾妻連峰の懐。その豊かな土壌と清らかな雪解け水が伏流水となり、福島の「農」を潤します。黄金色の水田や彩り豊かな果樹園一。この地に5つの蔵元が集い、米や果実、麦が惜しみなく注ぎこまれた、日本酒、ビール、ワイン、どぶろくなどが生まれました。清流のせせらぎに想いを馳せ、あづま山麓の自然を五感で味わう、ここだけの贅沢なひとときを楽しむことができます。



金水晶 四季の蔵

明治時代に創業した金水晶酒造は、水質日本一の荒川の伏流水と福島県産米を使って酒造りをする市内唯一の日本酒の酒蔵です。



みちのく福島路ビール

創蔵して28年の歴史あるクラフトビール醸造所です。吾妻山系の伏流水とユーロモルト、チェコホップ、ドイツ酵母を基本に、じっくり丁寧に造られた味が自慢です。



Yellow Beer Works

東日本大震災の後、復興支援を機に自分たちの手でビールを造ろうと決意しオープンしました。季節を感じるフレーバーが楽しめます。



おららの酒BAR・醇醸蔵

土湯温泉町の新たな特産品として2020年に誕生しました。地元の酒米農家や麹生産者と研究を重ね、醸造から瓶詰めまで一本一本丁寧に詰められます。



吾妻山麓醸造所

2019年に吾妻山のふもとに誕生した小規模ワイナリー。福島という土地の個性を生かしたワイン造りを営んでいます。



体験/



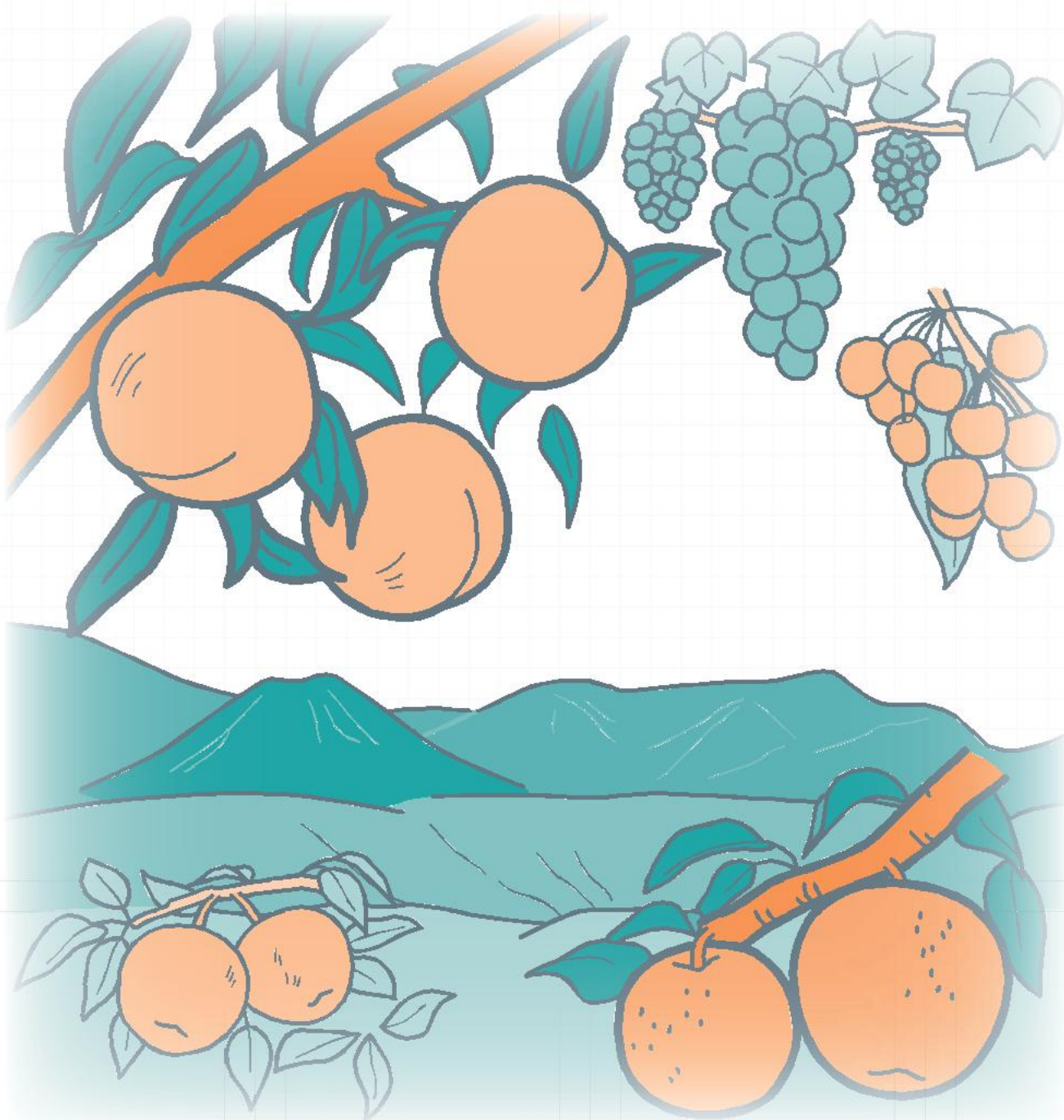
荒川資料室

荒川を紹介する施設で、写真、パネルなどで先人の知恵である「霞堤」や荒川の河川・砂防事業や沿川の史跡などを紹介するほか、荒川水系の立体模型を展示しています。荒川に親しみを持ち関わりを持っている人々の交流の場であるとともに、荒川に関する砂防事業、河川事業についても学べます。

02

恵みあふれる
吾妻連峰四季の恵みあふれる福島
果物がおいしいわけは？

福島市周辺ではかつて養蚕業が盛んでした。時代の変化とともに衰退していきましたが、養蚕に使われていた桑畑は、果樹づくりへと受け継がれていきます。吾妻連峰をはじめとする山々に、昼夜の寒暖差が大きい福島市は果樹栽培に最適で、甘みの強い高品質な果物の産地として知られるようになりました。こうして福島市は「フルーツ王国」と呼ばれるまでに発展し、初夏のサクランボ、真夏のもも、秋のブドウやナシ、初冬のリンゴと、季節ごとに多彩な果物が楽しめる地域となっています。





オススメの場所や体験

＼食べる／



桃

01

桃は国内で150品種以上が作られていますが、福島ではおよそ60品種が作られています。その中には、完熟なのに固くパリパリした食感のものもあります。この桃は、生で食べておいしいのはもちろんのこと、料理にも向いています。



＼食べる／



萱場梨(かやばなし)

02

130年以上の歴史を誇る、福島を代表するブランド梨。福島市北西部の萱場地区で生産される和梨は、総称して「萱場梨」と呼ばれています。吾妻山麓に広がる火山性で水はけのよい土壌、昼夜の大きな寒暖差、そして収穫期の高温。この恵まれた自然条件が、萱場梨の繊細でみずみずしい果肉を育みます。



＼購入／



フルーツライン

03

福島市の西側に広がる吾妻連峰の麓を走る、約14kmにわたる福島県道5号線の愛称で、観光果樹園や直売所が数多く並びます。初夏からさくらんぼ(佐藤錦)の収穫や直売が始まるのを皮切りに、桃、梨、ぶどう、りんごまで約半年に渡ってくだものの旬が続きます。



火山の大地で
紡がれる人々の
暮らし

隠れ里に立ち上る 火縄銃と湯の煙

白布温泉は、1312年に開湯した由緒ある温泉地です。江戸時代には上杉家の家老である直江兼続が鉄砲の鍛造の拠点として各地から鉄砲鍛冶を招き、人里離れた白布高湯（現在の白布温泉）を整備しました。人目につきににくく、吾妻連峰からの恵みである硫黄や炭などの原料調達にも恵まれていたことから、ここでは約1000挺もの火縄銃が製造されたと伝えられており、白布の温泉旅館には、当時の鉄砲鍛冶との関わりを示す記録が今も残されています。鉄砲鍛冶たちは後に米沢城下へ移り、「鉄砲屋町」と呼ばれる地区を形成しました。

現在、白布温泉の広場に建つ直江城州公鉄砲鍛造遺跡が、こうした火縄銃製造の歴史を今に伝える貴重な史跡となっています。





歴史/



直江城州公 鉄砲鍛造遺跡

直江兼続が火縄銃を製造させたことを記念し、昭和45年に白布温泉の西屋・中屋・東屋前の広場に建てられた石碑です。



文化/



米沢上杉まつり

米沢上杉まつりは、厳しい冬の終わりと春の訪れを祝う米沢の一大イベントです。満開の桜の下、上杉神社の例祭や露店を楽しむ人々で賑わいます。古くから市民に親しまれ、春を迎える喜びを分かち合う大切な祝日です。



歴史/



宮坂考古館

米沢・置賜地方につたわる考古や歴史、民族資料などを収蔵、展示しています。米沢藩に関する重要な文化財も多く収蔵、展示しており、火縄銃をみることも出来ます。



火山の大地で
紡がれる人々の
暮らし

こけしの丸い顔に宿る 先祖伝来の職人技

土湯温泉は、遠刈田、鳴子と並ぶ「三大こけし発祥地」のひとつとして知られています。古くから湯治場として栄えてきたこの地では、湯治客の土産づくりとして、吾妻の森に育まれた木を使って、こけしづくりの文化が生まれました。こけし工人たちの熟練の手によって、削り、磨き、絵付けを重ねながら、一本の木に命が吹き込まれていきます。こうして生まれるのが、素朴で温かみのある、やさしい表情をたたえた「土湯こけし」です。





オススメの場所や体験

見る/



土湯こけし

「日本三大こけしの「土湯こけし」は、頭部の「蛇の目」という黒い輪と前髪の両脇に「かせ」と呼ばれる赤い髪飾りが描かれ、胴の「ろくろ模様」が特徴です。その成り立ちは、江戸時代に伝わったとされる木地師の伝統を引き継いだもので、江戸末期頃には作られていたと言われています。この土湯木地師の技術から発生したこの製作技術は、明治以降、工人達の努力により花開き、全国から高い評価を受ける作品を生み出すようになりました。そして今に伝わる土湯伝統こけしの製作技術は市指定無形民俗文化財に指定されています。



見る/



土湯の巨大こけし

土湯温泉観光協会の近くには、町のシンボルともいえる巨大こけしがあります。高さ約3m、重さ約500kgというビッグサイズで、訪れる人を温かく出迎えてくれます。「こけしの顔出しパネル」も設置しており、記念撮影を楽しむことができます。



見る/



土湯温泉観光交流センター 湯愛舞台

土湯温泉街の入り口にある情報発信拠点です。土湯こけしをはじめとする東北6県のこけしが約2,000体展示されており、こけしの絵付け体験を行うことができます。また、展望広場からは、土湯温泉街や吾妻山系の美しい山々を見ることができます。



見る/



湯愛舞台内 こけしな処

体験室の入口には高さ約3メートルの木製巨大こけしが立ち、壁の棚には土湯こけしをはじめ東北各地の伝統こけしが約3,200体もびっしりと並んでいます。ここでは、土湯温泉観光協会が行っている「Kokeshi Re:Life (こけしリライフ)」プロジェクトで全国から里帰りしてきた伝統こけしたちも展示されています。



気軽と本格さ、
どちらも叶えられる
アクティビティ

天の川がスマホの距離にある 天文台

浄土平天文台は、日本で一番標高の高い場所にある公共公開天文台として知られています。周囲を吾妻連峰に囲まれた窪地にあり、外部からの光が届きにくいため、夜空の暗さと星の見えやすさは国内随一。加えて、澄んだ空気と乾燥した気候条件がそろい、全国の天文ファンからも愛されるスターウォッチングポイントです。特別な機材を使わずともスマートフォンのカメラを空に向けるだけで美しい天の川を撮影することができます。

※公共公開天文台：研究機関としての天文台とは別に、一般市民が星や宇宙に親しめるよう、天体観望会など公開業務を行っている天文台のこと





オススメの場所や体験

見る/



浄土平天文台

01

標高1600mの浄土平に位置する、日本で一番標高の高い公共公開天文台です。専門の観測設備を保有しているほか、隕石や天体写真が展示されています。天文台まで、福島市街から車で約1時間です。



見る/



チロ像

02

天文ファンの中で伝説になっている「星空への招待」。浄土平天文台では、1975年から10年間行われたイベントの世話人(犬)代表として、全国の天文ファンから親しまれたアストロ犬「チロ」の像や写真がまっています。



体験/



浄土平星まつり

03

毎年夏に行われる「浄土平星まつり」では、浄土平天文台・浄土平ビジターセンター・浄土平レストハウスの3施設が連携し、多彩な体験型イベントやワークショップを開催します。日中から夜まで、一日を通して楽しむことができます。



気軽と本格さ、
どちらも叶えられる
アクティビティ

ロープウェイで気軽に山頂 でもアクティビティは本格派

ロープウェイやリフトの利用で気軽に西吾妻山山頂へたどり着ける天元台高原。

グリーンシーズンは、手ぶらで楽しめるキャンプやトレッキングのほか、星空観賞や星景写真のワークショップなど、昼夜を問わずイベントが充実しています。

ウィンターシーズンは、なんといってもスキー・スノーボード。11月下旬からGW頃までのロングシーズンが魅力で、東北随一のパウダースノーを求めて全国からファンが集います。また、厳冬期にはスノーモンスターと呼ばれる樹氷の群れが出現。西吾妻山の樹木は、木が低く密集しているため他の山域よりも小ぶりで、リトルモンスターと呼ばれています。





オススメの場所や体験

体験/ 01 天元台高原ロープウェイ・夏山リフト

ロープウェイは西吾妻山山麓の湯元駅から標高差430mを、約6分で結んでいます。東北のアルプスとも称される飯豊連峰の山並みをはじめ、新高湯温泉の湯けむりや米沢盆地を一望でき、西吾妻山山頂から望む雲海はまさに絶景です。また、夏山リフトは、3基を乗り継いで標高差510mを運行しています。足元に咲く高山植物を眺めながら空中散歩を楽しめる、日本一長い夏山リフトです。



自然/ 02 雪山大冒険

圧雪車キャビンに乗り込んで、標高1,200mから見渡す米沢盆地の絶景と雪原を舞台に林道のなかをかき分けて進むアドベンチャー。キャビンより降り立ち、スノーシューを装着してパウダースノーを体感できます。

■圧雪車キャビン



自然/ 03 スノーモンスター (リトルモンスター)

厳しい風雪にさらされる中、木々の枝に水蒸気が凍り付き、さらに強風によって雪が幾重にも付着することで、木々はまるで生き物のような異形の姿へと変貌を遂げます。西吾妻山では、木々の背が低く密集しているため、他の山域に比べて小ぶりなリトルモンスターの大量を見ることができます。



関連メディア

米沢観光NAVI

観光協会
・
DMO等

問合先 米沢市観光キャンペーン推進協議会

HP



電話 0238-22-5111(代表)

米沢観光コンベンション協会

観光協会
・
DMO等

問合先 一般社団法人
米沢観光コンベンション協会

HP



電話 0238-21-6226

福島市観光ノート

観光協会
・
DMO等

問合先 一般社団法人
福島市観光コンベンション協会

HP



電話 024-531-6428(福島市観光案内所)

浄土平ビジターセンター

ビジター
センター

問合先 浄土平ビジターセンター

HP



0242-64-2105(冬期休館)

024-591-3600

電話 (吾妻・浄土平自然情報センター内)

アラウンド西吾妻

観光協会
・
DMO等

問合先 白布温泉観光協議会

HP



極上源泉 高湯温泉

その他
拠点

問合先 高湯温泉観光協会

HP



電話 024-591-1125

土湯温泉観光協会

その他
拠点

問合先 NPO法人土湯温泉観光協会

HP



電話 024-595-2217

安達太良・吾妻 自然センター

その他
拠点・
サイト

問合先 安達太良・吾妻自然センター

Instagram



電話 090-7171-0350

道の駅つちゆ つちゆロードパーク

その他
拠点

問合先 道の駅つちゆ つちゆロードパーク

HP



電話 0243-24-2148

浄土平天文台

その他
拠点

問合先 浄土平天文台

HP



0242-64-2108

電話 (磐梯吾妻スカイライン閉鎖期間中は閉館)

